



さくらっ子

No. 19
R4. 3. 22発行
発行責任者
校長 小関 洋

【重点目標】 よさを見つけ 高め合おう

■ またもや大地震 みんなで乗り切りましょう

3月16日(水)午後11時30分ごろ、2度にわたる大地震があり大変だったことと思います。この3連休は片付けに明け暮れたのではないのでしょうか。学校は、屋上の貯水槽からの送水管が外れ、北校舎と南校舎をつなぐ各階の廊下が水浸しとなりました。その夜、駆けつけてくれた職員で水を吸い上げました。翌日、再点検をしますと、昨年度の地震でひびが入った校舎周辺は、更に広く、深くなっていました。力のかかるところは同じなのですね。春休みからやっと修繕工事が始まる計画でしたが、

各教室には大きな被害はありませんでした。翌日、大場設備様に駆けつけていただき、送水管を急いで繋ぎ直していただきました。お陰様で、明日、修了式・卒業式ができます。前日に起きなくてよかったです。災害が毎年続き、ため息がでますが、みんなで頑張って乗り切りましょう。



■ 卒業おめでとう

小学校を巣立つ82名の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業を心からお祝いいたします。

皆さんはこの六年間で多くのことを学び、体験してきました。そして、最後の一年間は最上級生として、登校班や清掃、委員会活動等で中心となって活動してくれました。これらの活動が充実したのは、正しく皆さんが活躍してくれたおかげです。ありがとうございます。

今年度もコロナ禍により、いろいろな活動が制限されました。しかし、先生方は、皆さんの小学校生活最後の年にも思い出をしっかり残してあげたいと思い、感染対策を取りながら校内陸上記録会やスポーツフェスティバル、見学学習や外部講師を招いての授業などを実施してきました。いかがだったですか。私自身は、皆さんと一緒に参加した見学学習が特に楽しい思い出です。縄文の森での竖穴式住居。中は暗くて黒光りしていました。数年ぶりに乗ったベニーランドでのジェットコースター。心臓が止まらなくてよかったです。

学校での学びは、いつの間にか皆さんに多くの力をつけています。計算力や読解力、表現力など、こ

れからの人生に必要な力です。本校で学んだことに誇りと自信を持ち、これからも努力を続けてください。

長い人生には、大きな山がいくつかあります。小学校という大きな山を越して、いよいよ二つ目の山に挑戦していきます。山の頂上に立つには、苦しいことがたくさんありますが、避けて通ることはできませんし、一度に頂上に立つこともできません。一步一步、足元をふみしめて登っていかなくてはなりません。大切なことは「目標を持ち、諦めない」ことです。

相馬にゆかりのある二宮尊徳は「積小為大」(せきしょうだい)という言葉を残しています。小を積みめば、則ち大と為る。つまり、小さい努力の積み重ねがやがて大きな収穫や発展に結びつくという意味です。イチロー選手も、大リーグシーズン最多安打記録を達成した時のインタビューで「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」と言いました。大事なことは、「続けること」なのです。「続ける力」こそが最高の力なのです。

いつの日か「夢」という大きな山の頂上に立てる日を祈っています。

■ 6年生へのメッセージ

6年生を送る会は、各学年ごとに録画しての発表としました。5年生が各学年を紹介しながら在校生からのメッセージという形に仕上げてくださいました。クイズや合奏、5年生はよさこい踊りを披露し、6年生へ感謝の気持ちを伝え



ました。その後、廊下や階段、昇降口にメッセージや花などで装飾もしました。

そうじのときやわからなくてこまっているときにおしえてくれたり、けがをしたとき、ほけんしつにはこんでくれたりしてありがとうございました。(3年)

6年生のみなさんはやさしく頼りがいがありました。委員会活動で未経験者のぼくたちに何をどうするのかを教えてくださいました。よさこい踊りの振り付けを踊って教えてくれてかっこよかったです。中学生になってがんばってください。(5年)



■ 入賞おめでとう

【私と新聞親子作文コンクール】

[入選]5年 さん親子

[入選]5年 さん親子